



議会だより

なおしま

2014 No. 169
平成26年10月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



13年ぶりに寄港した掃海艇「なおしま」
(8月27~29日)

水洗化率向上を(H25年度事務報告) 2P

新副町長を選任 5P

排水ポンプ能力アップを(町長・教育長報告)..... 6・7P

排水対策早急に他(一般質問) 8・9P

直島の“今”を捉えなおそう(U・Iターン者に聞く)..... 11P

自慢に思える故郷を(がんばりよるで) 12P



拡幅が待たれる鷲ノ松県道

る。

A

(町長) 保安林解除などで遅れている。

Q

(小野) 鷲ノ松地区で県道の拡幅が予定されているが、見通しはどうか。

県道の拡幅は

う。

A

(町長) 横防に2戸建設するが、空き家調査もできつつあり、空き家の改修に国庫補助があるので3〜4戸の住宅が確保できると思う。

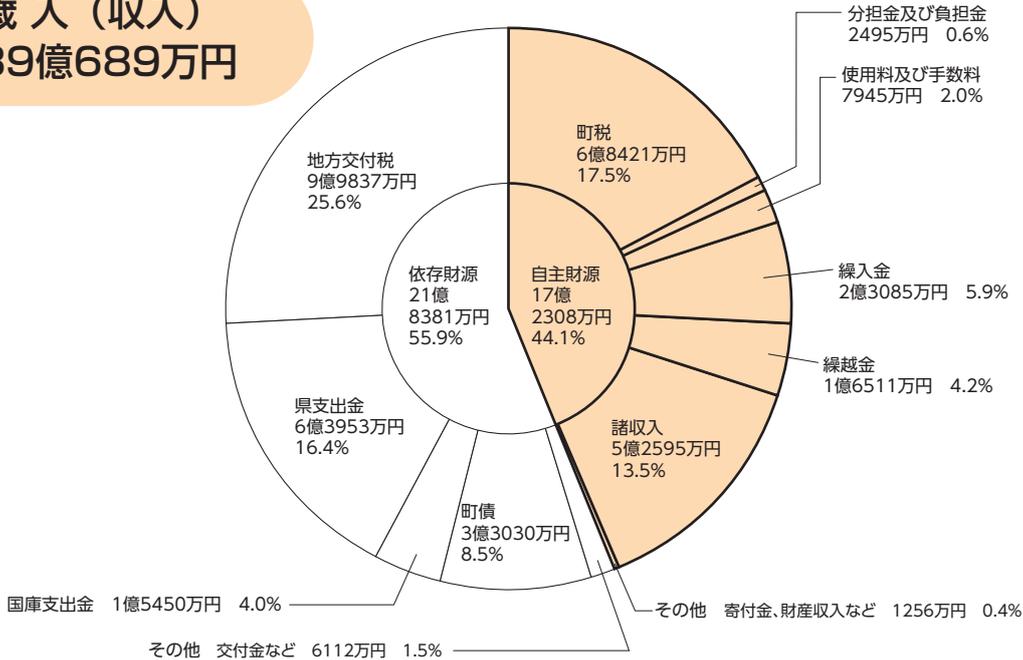
Q

(小野) 横防に家族用住宅ができるが、今後とも必要と思うが、

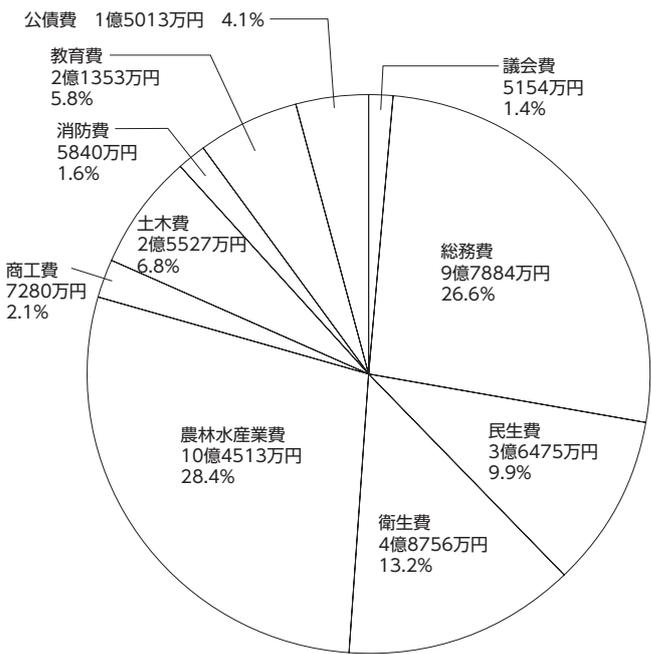
家族用住宅は

平成25年度一般会計歳入歳出構成図

歳入 (収入)
39億689万円



歳出 (支出)
36億8472万円



歳出 (支出) の主なもの

- 総** タブレット型端末約300世帯に配布
- 総** (仮) 町民会館建設に向けた工事
- 民** 介護・訓練等給付
- 民** 児童手当
- 衛** 廃棄物処理施設管理棟等整備など
- 商** ふるさと海の家改修
- 土** 各所道路改修工事
- 教** 中学校体育館トイレ改修

(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります。)

平成25年度決算 主な質疑

一般会計

Q (石川) 税金全般について不納欠損は

やむを得ない面もあるが、滞納額は減少していない。税の公平な立場から滞納額を減らすべきでは。

A (税務課長) 滞納額が増えており、

監査からも指摘されている。今年に限って町県民税は県と共同で滞納処理をする。

Q (小林) 釣公園の実質収支に関する

調査で平成25年度から26年度への歳入、歳出差引額が少額であるが、意図的に繰出金を減らしたのか。

A (建設経済課長) 消費税の関係で、

特定収入に前年度繰越金が計上されるため、繰出金をおさえている。

Q (小林) 全般にわたって歳入欠陥が

多く見受けられる。これ以上増えると、繰越金、実質収支など赤字になるおそれがあるので担当課からの予算見直し、総務課の予算査定をキツチリすべきでは。

A (総務課長) 指摘

のとおり査定の際階で歳出は余裕をみて、それに対する国・県の補助率で計上しているの。歳入欠陥が出ている。今後、査定では各課長と協議しながら考えていきたい。

特別会計

簡易水道事業

Q (井下) 現在エタ

パイ(石綿管)はどれくらい残っているか。地震時には古い水道管が破損するので順次改良してはどうか。

A (環境水道課長) 何力所かはある。

改良は計画していきたい。(小林) 直島ダム耐震診断は調査費

Q (小林) 直島ダム

耐震診断は調査費だ。これを建設改良費で支出しており、関連して企業債を借りている。耐震性に問題ないということ

で工事をしていない。ならば資本的支出に計上すべきではなく、起債も借りの必要はなかったのではないか。貸借対照表の建設仮勘定にも耐震調査分として1638万円が計上されている。これには長年にわたり減価償却が発生してくるが、工事とは関係ないものだ。このような経理は不適切だ。この決算についてどう考えているか。

A (町長) 決算につ

いて不適切な部分があったことは申し訳ない。すでに起債を借りているので決算の修正はで

きないし、繰上償還につ

いても他の起債への影響も大きいことからできない。償還期間の10年は建設仮勘定に置いておき、返済終了後に特別損失として処理したい。今後は簡易水道会計も総務課での査定でチェックする。

討論

釣公園事業

賛成(井下)

民間委託をできるだけ早く実現するよう努力されたい。

簡易水道事業

反対(小林)

間違った経理には反対する。賛成(井下)

今後、役場職員全員気をつけて決算してもらうことを要望する。

監査報告

“まじめに税等を納めている人が損をしないように”

平成25年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計について、証拠書類および関係諸帳簿を基準として審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》

東日本大震災などにより、依然として先行きが不透明な中で、難しい財政運営であるので、町の将来を見据えた事業を、限られた財源で最大の効果を発揮するよう、創意と工夫を凝らした財政運営を望む。

《特別会計》

〔国民健康保険事業〕

税の滞納は、前年度より減少しているが、依然として多額の滞納がある。保険税徴収率の向上および保険給付費の減少に努めるとともに、健全運営に一層の努力を望む。

〔診療所事業〕

一般会計から多額の繰入金で運営しているため、常に住民から信頼され、親しみのもてる診療所として経営努力するとともに、一層健全な財政運営に努めるよう望む。

〔下水道事業〕

使用料については、一部滞納が見受けられる。当会計は、一般会計からの繰入金で歳入において大きな比重を占めているため、水洗化率の向上を図るとともに、負担金、使用料の滞納額の完納と健全な財政運営を望む。

〔釣公園事業〕

レストハウスでの食の提供により、ここ数年、利用客は増えていたが、本年度は強風などで減っている。施設環境および利便性の向上を図り、さらなる集客対策を模索し、健全経営に努めるよう望むとともに、民間委託への移行など、運営方法の見直しも要望する。

副町長に

大庭 康博氏



おおば やすひろ 大庭 康博氏

空席となっていた副町長に、香川県より派遣される大庭康博氏の選任に同意しました。

任期は平成26年10月1日から4年間。

人事

平成26年度補正予算

一般会計

町民会館建設、健やか

子ども基金、町道改良、横防家族用住宅新築などに2億1609万円を追加し、予算総額は43億5487万円となりました。

歳入

● 県補助金

320万円追加

● 基金繰入金

2億円追加

● 繰越金

1289万円追加

◎ 歳出の主なもの

● 町民会館建設等

1億5千万円追加

● 健やか子ども基金積立金

320万円追加

● 町道改良

784万円追加

● 横防家族用住宅新築

5385万円追加

特別会計

国民健康保険事業

療養費などに341万円を追加し、予算総額は



改良予定の本村（今井戸前）道路

4億8637万円となりました。

◎ 歳入の主なもの

● 療養給付費等交付金

275万円追加

● 繰越金

54万円追加

◎ 歳出の主なもの

● 療養費

314万円追加

簡易水道事業

浄水場ろ過池のろ材入

れ替えに415万円追加、

残土処理費を131

6万円減額、琴反地区

の配水管改良に910万

円追加することになりました。

「宮浦港に新ランドマーク」

美術作品購入契約

海の駅南側の再開発用地に、新アートの設置が決まりました。

● 金額 1500万円

● 契約先 有限会社東聖

藤本壮介建築設計事務所

◆コンセプトは「もっぴっぴの島」◆

直島町は大小27の島々で瀬戸内の美しい景観をつくりだしています。その直島町の宮浦港に28番目の新しい島が生まれます。

この島は地域の拠点として、来島者と地元の方々がともに時を過ごし、新しい交流を生み出す、いこいの場、島の新しいランドマークとなることが期待されます。



28番目の新しい島？

結婚支援・少子化対策などに朗報

条例制定

健やか子ども基金条例

県と町の連携のもと、県補助金を基金に積み立てて、結婚支援などの少子化対策、妊娠・出産期のケア・サポート体制の充実等の母子保健対策、子育て環境の整備などについて総合的に推進するもの。

排水ポンプの能力アップを

詳しく調査し
検討する



濱中町長

(主なもの)

- 6月8日 直島ライオンズクラブ主催の「2014ホテルの夕べ」が直島ダムビオトープで開催されました。
- 6月15日 町制施行60周年記念安藤忠雄講演会を中学校体育館で開催しました。
- 6月25日 四国汽船株野崎社長他が高松最終便の時刻変更等の報告のため来庁されました。
- 7月5日 直島出合い隊イベント第20弾「カップリングパーティー2014 in 直島」をふるさと海の家「つつじ荘」で開催。男性34人と女性34人の計68人の参加があり、5組のベスト1カップル、3組のベスト3以内カップルが誕生しました。
- 8月8日 香川大学の古川教授及び学生が来庁され、直島未来会議プロジェクトの協賛依頼がありました。内容は町民とのワークショップや町民に対するアンケート等を実施するとのことでした。
- 8月9・10日 台風11号が接近、水防本部を設置し警戒にあたりましたが、大きな被害はありませんでした。
- 8月27～29日 掃海艇「なおしま」が宮浦港に寄港し、歓迎セレモニー、体験航海などのイベントが行われました。

主な質疑

積浦ビオトープのホテルは

Q (井下) 直島ダムビオトープで「ホテルの夕べ」が開催されたが、積浦ビオトープでホテルはどうだったのか。

A (町長) 積浦ではイベント的なものはやっていない。口コミで見に来た人がいた程度だった。

宇野・高松最終便変更

Q (中野) 高松最終便時刻変更の報告があったが、他に良い話はなかったのか。

A (町長) 宇野発0時30分と金土日祝日高松発17時5分の小型船が増便された。

カップルの定住は

Q (井下) 出合い隊で結ばれたカップルが町内居住の相談に役場を訪れたが対応不十分で島外居住を選択した経

緯があった。その後改善されたか。

A (町長) 従来、窓口と担当部所が分かれていたが、企画電算室に一括して定住関係を扱うよう対応したい。

石場ポンプの能力アップは

Q (石川) 設置当時は対応力があつたと思われるが、近年の雨量には能力不足となっている。改善の方向で検討すべきでは。

A (町長) 毎年点検整備は実施してい

るが、近年の雨量に対応しきれているかどうか不明なので石場地区のみならず積浦、宮ノ浦も含めて調査し考えたい。

Q (松島) 来年も台風シーズンが来るので是非来年に間に合うように実施しては。

A (町長) 早く実施したいが、かなり高額になると予想されるので詳しく調査し対応する。

Q (浜口) 既設の砂防ダムに土砂が溜

砂防効果がないのでは

A (町長) 誕生のいきさつは聞いたが、今回は簡素に行ったので、レセプションも一般の方は呼ばなかった。

まって砂防効果が無くなっていると思われる場所がある。現状把握と対策は。

A (町長) 実態把握はしていない。調査し対応したい。

掃海艇「なおしま」生みの親の扱い

Q (松島)「なおしま」生みの親である町出身者が寄港にあわせて来島されたが、充分な接遇がされたかどうか。

A (町長) 誕生のいきさつは聞いたが、今回は簡素に行ったので、レセプションも一般の方は呼ばなかった。



能力アップしてほしい石場ポンプ



岡教育長

感銘を受けたようだ

称賛された

Naoshima Egg

(主なもの)

- 6月7日 英語ガイド養成講座が行われ、小・中・高生7人と大人3人の計10人が参加しました。
- 7月12日 子ども会育成連絡協議会主催による清掃活動が実施されました。
- 7月26日 英語ガイド養成講座が開催され、Naoshima Eggのメンバー6人が参加し、2人の先生から指導を受けました。
- 7月31日 「エコ・アートフェスティバル in 直小」が開催され、全校児童で「行燈づくり」などの活動を行いました。
- 8月1日 香川県ヘキ地教育研究会夏季研修会が総合福祉センター会議室で開催され、県内小・中学校約90人の教員が出席しました。
- 8月18～22日 中学校野球部が第7回全国離島交流中学生野球大会に出場しました。(惜しくも3回戦で敗退)
- 8月25日 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。



「行燈づくり」がんばりました

主な質疑

Q (井下) ヘキ地教育研修会で、なおしまEggなど、評価はどうだったか。

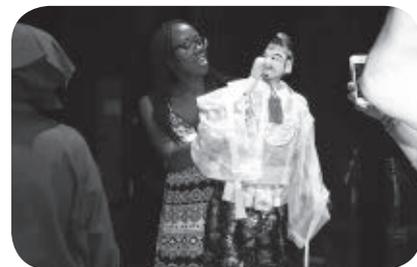
A (教育長) 日頃から直島の英語教育が報道され、知名度も高い。

Q (教育長) また、実際に子どもたちの英語力はレベルが非常に高いと評価された。

A (井下) 外国人のALTからも、女の子の上手な英語



ALTに女文楽の説明をするEggメンバー



ALTも初体験?

A (教育長) 子どもたちの上手な英語が。文楽の説明はよく理解できたと話があったようだ。

A (教育長) オリエンテーションで、英語ガイドについての英文チラシを配布し、参加希望をとっている。

Q (中野) 外国人から、なおしまEggへのガイド依頼は、どのようなルートで行うか。

A (教育長) オリエンテーションで、英語ガイドについての英文チラシを配布し、参加希望をとっている。

に感銘を受けたようだ。また女文楽の上演についても、スクリーンに英文で表示したので、よく理解できたと言っていた。

一般質問

子育てしやすい環境づくりを

〔町長〕図書室を利用してほしい



大谷 智子 議員

A (町長) 以前、スイマイリーズからも要望があり検討はして見たが、なかなか妙案がない。

子育てしやすい環境を整えるため、福祉センター内に乳幼児と母親が、気兼ねなく集まれる常設の部屋を作ってはどうか。

ご指摘のような、常設の部屋があれば、子育て中の親子交流の場となり、大きなメリットもある。しかし、福祉目的で作った施設のため、利用



浜口 敏夫 議員

A あったが町長の考えは。直島でもいつ起きても不思議はない。昨年度に地域防災計画を全面的に改定した。さまざまな災害から住民の生命と財産を守ることに行政の最も重要な責務だ。

8月19日深夜から20日にかけて広島市を中心に局地的な豪雨があり、多数の死者・行方不明者が出た。直島でも過去にあった。直島でも過去に

Q 台風11号で冠水した場所があったか。また、台風が去った

台風11号で冠水した場所があった

宮ノ浦地区の排水対策を

〔町長〕早急な対策が必要



親子交流の場に福祉センター図書室

できる部屋は図書室くらいである。他の利用者の迷惑にならない範囲で使ってほしい。

12日も宮ノ浦では、大潮の満潮時に道路が部分的に冠水したが把握しているか。

A 本村地区では木村プロパン前の県道、農協前、宮ノ浦では住吉神社裏が冠水した。12日については把握していない。

Q 8月24日、午後6時頃から約20分間集中豪雨があった。宮ノ浦では水路が溢れ、道路が冠水した。

満潮まで5時間以上も

町制施行60周年の記念植樹を

町制60周年を記念に、福祉センター中庭に、大きなシンボリックな木を植えてはと思うが。

A (町長) 11月9日に記念式典を開催する予定であり、それに向けて企画委員会を開催している。

式典内容は、すでに固まっていることから、こ

前だったが、これが満潮時なら、床下浸水は免れなかった。この実態を把握しているか。

A 後日、担当課長が写真で確認した。干潮に近い水位でも集中的な大雨で水路が溢れたことは、今後の排水対策の課題として検討し

早く排水対策、雨水ポンプの設置を。



冠水した宮ノ浦道路

A 宮ノ浦の皆さんの心配はよくわかる。道路冠水だけでなく住宅被

の件については時期的に遅い。

また中庭は、いろいろなイベントにも使っているし、大きな木を植えるのは管理の面でも難しい。

「ゆいぽん先輩」で戦争体験を

日本が戦争をしたという記憶が忘れ去られないよう、直島在住の戦争体験者の方から、小・中学生を対象に戦争について語ってもらってみてはどうか。

Q 本村では石場町に排水ポンプがあり、納言様地区の排水対策工事は現在進捗中、宮ノ浦の低い土地の住民は高潮・大雨のたびに浸水を心配している。

排水対策は直島全体で考える必要がある、できるだけ早期に対策を講じたい。

うか。

A (教育長) 先の大戦を反省することは大変重要と考えている。児童・生徒に戦争体験を語ることは、

刺激的な内容になっても困る。学校では教科書や、ビデオ教材を使用し、学習しており「ようこそ先輩」で、戦争体験者の話を聞くかどうかについては、学校が判断する。

害も予想される。早急な排水対策が必要だ。十分な能力の排水ポンプには相当の施設と多額の費用が必要だ。

排水対策は直島全体で考える必要がある、できるだけ早期に対策を講じたい。

Q 台風前に、ため池の水位を下げるなどの管理も重要だが、

台風前には水量調整をしている。

A 今後適切に対応したい。

あれ、どんなっとな!

このコーナーは、議員が以前一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

風戸航路 四国フェリーの運航は

平成24年 津国汽船が風戸航路の運航を取りやめた。
平成24年11月 四国フェリー(株)副社長が来庁され、運航する話があった。

四国フェリー(株)の風戸航路就航はいつからか
(平成24年12月議会 浜口議員)

答 弁

現在、既に国へ申請を出しているが、許可されるのには2カ月程度かかるので、25年1月中に就航すると聞いている。

(前濱田町長)

その後

三菱マテリアル(株)と四国フェリー(株)との間で、便数の問題など、話し合いがつかず運航の話はなくなった。



松島 俊雄 議員

産廃処理記念モニュメントを 〔町長〕スラッグ舗装は困難だ

豊島産廃処理事業は長年の紆余曲折を経て、残すところ2年余りとなった。そこで処理スラッグが排出・供給できる間に、この事業推進を

か。実施した記念モニュメントを造ってはどうか。国の内外を問わず世界各国からの来訪者に対して「環境のまち宣言」の根源をアピールし、歴史的認識を風化させないために、本村の家プロジェクトに関連する道路を「産廃スラッグ」で舗装整備してモニュメントとしてはどうか。



モニュメントには無理? (本村の道路)

〔町長〕道路舗装をモニュメントと云うのは違和感がある。記憶と記録に残すには石碑的なものがふさわしいと考える。溶融スラッグは舗装用のアスファルトに

A

(町長) 道路舗装をモニュメントと

は使用されていない。周辺町道には上下水道の配管も埋設されている。従ってスラッグ舗装は考えられない。
Q 現在の、町民はこの事業受け入れの具体的な受益を実感していない。「受け入れの選択は正しかった」という当時の町民感情を維持し、島の将来を担う子供たちへの教育効果も含めて、香川県から直島住民に対する謝意を表するた

めにも、県を事業主体として県費で実施してもらったかどうか。
A 受け入れ4条件のひとつに「町の活性化につながる」とあった。

③エコアイランド直島プランに基づく事業の推進の中で、一般廃棄物処理施設整備支援を県が実施。
④財政面でも辺地債過疎債の活用で地方債の負担額と積立額が同じ水準で推移し他の自治体に比してかなり恵まれている。

Q 現在の、町民はこの事業受け入れの具体的な受益を実感していない。「受け入れの選択は正しかった」という当時の町民感情を維持し、島の将来を担う子供たちへの教育効果も含めて、香川県から直島住民に対する謝意を表するた

めにも、県を事業主体として県費で実施してもらったかどうか。
A 受け入れ4条件のひとつに「町の活性化につながる」とあった。
①33年ぶりの離島指定を受け、各事業の補助率が引き上げられ、採択の緩和が行われた。
②辺地法の適用・県営住宅建設・エコタウン事業の有価金属リサイクル施設完成によって三菱マテリアルに寄与し雇用の確保につながった。
記念モニュメントは県の費用でやってもらいたい。事業完了後のモニュメントより、処理施設跡利用の方がより重要な課題だ。

委員会レポート



浜口 敏夫 委員長

8月4日と19日・20日の両日、合同常任委員会を開催し、各課からの現状・今後の予定等の報告を受け、議論を交わしました。主なもののみ報告します。



石川 知久 委員長

経済・民生

総務・文教

つっし荘南側の丘に、研修施設、大講堂、約80人の宿泊棟、大浴場など

「福武（ベネッセアカデミー）建設計画」

宮浦港南側に設置予定の新たな美術作品。コンセプトは「もうひとつの島」溶接して作られたステンレス製の網状のオブジェで、夜はライトアップする計画。

美術作品購入事業

町当局より次の3事業計画の説明を受けました。

○8月9・10日 台風11

台風対策

○7月5・6日 直島出会い隊「カップリングパーティー1214 in 直島」を開催。男女ともに34人が参加し、8組のカップルが成立した。

大盛況の出会い隊

〔総務課〕

③空調機の故障、雨漏り、全自動分割分包機の

②入院患者 1日平均63・2人
①外来患者 1日平均7・0人

病床稼働率 36・6%

○診療状況（4月～7月）

「ふれあい診療所」

DKまたは4LDKで建設する計画。
両親と子ども2人を想定。2階建てを2棟、4

横防家族用住宅計画

を分散配置する計画。

期間中の乗客数

○8月12～17日 お盆期間中の混雑緩和対策として、バスの乗車案内や臨時便を運行したため、大きな混雑はなかった。

観光客対策

号の接近に伴い水防本部を設置し、避難所を開設した。大きな被害はなかった。

（委員から）瀬戸芸実行

○8月1日から釣公園の新たな改革として「ハネ釣り大会」を開催。大会がない月には、月間賞を実施の予定。

○北川フラム氏が瀬戸芸2016基本計画の事前協議のため来庁。

〔建設経済課〕

○6月27日 宮浦ギャラリー六区で「大竹伸朗の企画画展示」がオープン。

〔建設経済課〕

故障など設備・備品の老朽・故障についての報告があった。

○7月12日 子ども会が

135人の参加で、清掃活動を行った。また、午後には保護者を対象に救急法講習会が行われた。

子ども会が清掃奉仕

1万1912人
1日最高 2626人
（8月14日）

〔教育委員会〕

（委員から）戦没者追悼式では、町遺族会長も挨拶するべきだ。

○6月14・15日 集団特定健診を実施。受診者は国保加入者87人・後期高齢者89人。

○7月12日 ごみ0%

〔環境水道課〕

クリンデーを実施、参加者500人、ごみの量は約4トンを集集。

委員会での町意見を反映できる組織にしてほしい。



みんなで町を美しく



納言様排水ポンプ場を視察

その後、工事中の納言様排水ポンプ場などを視察しました。



カラム・フォーブスさん

○8月7日 ALTのトーマス・モナハン先生の後任として、カラム・フォーブスさんが着任した。

新ALT着任

直島の“今”を 捉えなおそう



岡本 雄大さん

今回は久々にUターンの方の登場です。積浦の岡本雄大さんにスポットをあてました。

Q 岡本さん、仕事で疲れのところよろしくお願ひします。はじめに、

の編集をしていました。

Q 直島での仕事は。

A 直島製錬所の業務課で働いています。皆さまに迷惑をかけないようにがんばります。

Q 久しぶりに帰島した感想は。

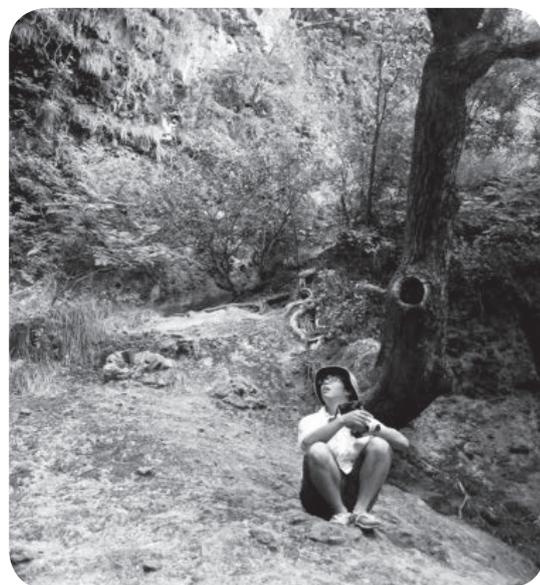
A ゆっくりと時間が流れるなあと。それがいい面も悪い面も持つていることが少しずつ見えてきました。

産業・文化・行政などいろいろな面で恵まれた島だなあと感じます。

Q 今一番力を入れていることは何ですか。

A 歩くことです。会社から万歩計を支給していただき、毎日の歩数を管理してもらっています。毎日2万歩目指してがんばります。

Q 現在直島は「直島出会い隊」を実施中です。



都会の喧騒から逃れて

第20回

U・Iターナー者に聞く

直島に帰ってこられたのはいつですか。

A 去年の11月です。もう少して1年です。

Q 動機は。

A 直島に身を置いて、いろんなことにチャレンジしてみたかったからです。

Q 以前はどちらに住まわれていましたか。

A 東京です。コンクリートジャングルで雑誌



いろんなことにチャレンジしたい

一度参加してはいかがですか。

A セクハラの質問、ありがとうございます。ぜひ一度お伺ひしてみたいものです。

Q 若者の目線や考え方で、これからの直島がどうあるべきか、ご意見を聞かせてください。

A 理想は、僕を含めた特に若者が直島や瀬戸内の“今”の価値を捉えな

おすべきだと思います。そのうえで町を一人ひとりが創っていったらなあと。ポテンシャルは高い町だと思うので、きつともっといい町になると思います。

ぜひ、そのプロセスの仕組みづくりを今の議会にお願いしたいです。

貴重な時間とご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

これからも若い力を十分發揮され、町の発展にご協力をよろしくお願ひします。



Tシャツアート展（海の駅）

今回登場

いただいたのは、町内で幅広く活躍されている「うい・らぶ・なおしま」の皆様



うい・らぶのメンバー

さん方です。会長の中根さんと副会長の堀口さんにお話を伺いました。

Q まずは「うい・らぶ・なおしま」という活動が生まれた経緯を教えてください。

A（中根さん） 環境ワークショップを2年

隊、環境フェスティバルなどで、月1回定例会を開催しています。

Q 自然探検隊とTシャツアート展について、少し詳しく教えてください。

A（中根さん） 自然探検隊については、直島は都会に比べて自然がたっぷりあります。そのギャップを肌で感じてほしくて始めました。今は海ホテル観賞や磯遊び等、毎回50人の参加者・50人のスタッフでがんばっています。

間やりました。終了後、このまま終わってしまったのはもったいないという事で、同メンバーで始めました。

直島町民として何ができるか、こんなことを考えていたと思います。

Q メンバーは何人ですか。

A（堀口さん） 約10人くらいですが、サポートメンバーや役員・県庁職員、香大生等に都度応援してもらっています。

Q 年間で主にどのような活動をされていますか。

A（堀口さん） Tシャツアート展、自然探検

うですが。

A（堀口さん）

そうですね、香大の古川先生との出会いで始まった「直島地域活性化プロジェクト」（今年8周年）にいろいろと協力していただいています。

「うい・らぶ・なおしま」の今日があるのはそのおかげと言っても過言ではないですね。ありがたいことです。

Q 今後の計画で何かやりたいことは。

A（中根さん） まだ具体的なには考えていませんが、参加者全員が楽しめるイベントをやりたいです。

Q お二人で「うい・らぶ・なおしま」のPRをどうぞ。

A（中根さん） まだまだ若いメンバーが少ないです。いろいろな人との交流、楽しいイベントが目白押しです。いっしょに楽しみましょう。お待ちしております。

Q 香川大学の学生も協力いただいているよ



ガンツやエビを捕ったぞー!

「うい・らぶ・なおしま」は、人のつながりや自然環境を大切に、島の子どもたちが必ず自慢に思える故郷を創ってきたいと考えています。

島にいる方や島外の方、誰でもぜひご参加いただきたいです。まずは第1水曜日夜7時、エコタウンハウスでの定例会を覗きにいらしてください。

今日はどうもありがとうございました。これからも町の活性化に大いなる活躍をお願いします。

「うい・らぶ・なおしま!!」



あの東日本大震災からはや3年半が過ぎた。数多くの方が亡くなり、未だに仮設住宅に住んでいる方々がおられる。

そして、今年もまた「今まで経験したことのないような豪雨」が広島県など全国で降り、多くの犠牲者が出ている。

人ごとではなく、いつ自分の身に降りかかるかも知れない。

「9月8日の中秋の名月はとても綺麗じゃった。あんな綺麗な月じゃから地震も津波も集中豪雨もないじゃろうな。もし行けるもんなら移住したいな」と思うたんは私だけじゃろうか？

（丸山記）

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 蓬 清二 |
| 委員長 | 井下 良雄 |
| 副委員長 | 丸山 義朗 |
| 委員 | 議員全員 |